

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度(令和2年度)	科目名	キャリアデザイン6	
科目基礎情報					
開設学科	ITスペシャリスト科	コース名	システム専攻	開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	4単位	開講時間		授業形態	講義
教科書/教材	キャリアサポートブック。就活ドリル。関連する資料等についてはそれぞれの実習内意で紹介する。□				
担当教員情報					
担当教員	中西真也・兒玉奉恵	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
<p>基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。</p> <p>本講座では基本情報技術者試験の午前試験(150分)と午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく。</p>					
到達目標					
自己分析、業界研究、一般常識の学習などを通して自分の現状を把握できるようになる。自分の現状から何が不足しているのかを認識し、不足しているものを自発的に学習できるようになる。一般常識、適性の学習を更に進めてレベルアップする。前期の学習を基に業界・企業分析を更に詳細に行い、働いてみたいと思える企業を幾つか見つけられる。					
教育方法等					
授業概要	就活ドリルなどを利用して一般常識や適性に関わる問題を毎時間ごとに解き、未取得な部分を確認。キャリアサポートブックを使い、自分の進路を考える。就職活動の流れを把握する。業界地図やインターネットの情報を利用し、業界、日本や世界の経済状況を確認する。内容によってかくじののーとPCを使うことがある。その際には指示する。				
注意点	授業に必要なスマートフォン、ペットボトルはカバンにしまうこと。私語を慎み、積極的に実習に参加すること。出席は授業時間開始時にのみ取る。遅刻は授業開始10分までを認め、それ以降は欠席となる。授業時間の3/4以上出席しない者は定期試験を受験できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	定期試験期間中に試験を実施し、授業内容全般の理解度を評価する		
	小テスト	40%	一般常識等の試験を授業時間内でテストを実施し、理解度を評価する		
	レポート	0%			
	成果発表(口頭・実技)	0%			
	平常点	10%	授業参加度、授業態度を評価する		
授業計画(1回～15回) 1回(4)時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	一般常識対策(1)	就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
2回	一般常識対策(2)	就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
3回	一般常識対策(3)	就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
4回	一般常識対策(4)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
5回	一般常識対策(5)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
6回	適性試験対策(1)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
7回	適性試験対策(2)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
8回	適性試験対策(3)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
9回	適性試験対策(4)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
10回	適性試験対策(5)	適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する			
11回	履歴書作成(1)	前期に作成した履歴書を見直し、就職活動で利用できるレベルに仕上げる			
12回	履歴書作成(2)	前期に作成した履歴書を見直し、就職活動で利用できるレベルに仕上げる			
13回	業界・企業分析(1)	企業サイトやJ-Naviを利用し、求人企業の内容を調べられる			
14回	業界・企業分析(2)	企業サイトやJ-Naviを利用し、求人企業の内容を調べられる			
15回	業界・企業分析(3)	企業サイトやJ-Naviを利用し、求人企業の内容を調べられる			